

BADWATER

BASS PRE-AMP & D.I.

Badwaterはアンサンプルの要となるベースサウンドを増強するオールインワンのベースプリアンプ/D.I.です。オプティカルコンプレッサー、オーバードライブ、そして4バンドEQセクションを備え、ウォームなクリーン、荒々しいコード、力強いオーバードライブ、そしてブライトで切れのあるスラップトーンまで、思いのままにサウンド作りが可能。



Volume:

ペダルの最終出力を調整します。Badwaterは出力を高めを設定しているため、他のペダルとのバランスを考慮してボリュームを調整してください。

Sustain:

内部オプティカルコンプレッサーは回路初段にあり、常にONの状態です。Sustainノブを絞ればコンプレッサーの効果は最小となり、ノブを上げるにつれ入力信号がコンプレッスされ、サステインが伸びます。

Low:

ローエンドのブーストまたはカットを ± 12 dBの範囲で行います。

Low Mid & LMF:

ローミッドのブーストまたはカットを ± 10 dBの範囲で行います。LMFノブでEQ処理を行う中心周波数を500Hz \sim 2.4kHzの範囲で調整できます。

High Mid & HMF:

ハイミッドのブーストまたはカットを ± 10 dBの範囲で行います。HMFノブでEQ処理を行う中心周波数を3.5 kHz \sim 7.5 kHzの範囲で調整できます。

High:

ハイのブーストまたはカットを ± 12 dBの範囲で行います。

Drive:

ゲインの量を調整します。僅かに歪んだトーンからハードなオーバードライブサウンドまで調整できます。

Voice:

トグルスイッチ上: ドライブセクションのハイエンドを増強
トグルスイッチ中: ドライブセクションのミドルレンジを増強
トグルスイッチ下: ドライブセクションのローエンドを増強

Blend:

ドライ/ドライブ信号のブレンドを調整します。ノブ最小の位置でドライ100%、ノブを上げるにつれドライブが加わり、ノブ最大の位置でドライブ100%が出力されます。ドライ/ドライブ信号はBadwater内部でパラレル処理されているため、抜けの良いトーンを得るために必要に応じてブレンドを調整してください。

Level:

ドライブセクションのレベルを調整します。ドライブをONにした際に必要に応じてブーストまたはカットが可能です。

Bypass Switch:

エフェクトのオン/オフの切り替えを行います。

Bypass LED:

エフェクトオン時に点灯します。

Drive Switch:

ドライブセクションのオン/オフの切り替えを行います。

Drive LED:

ドライブセクションオン時に点灯します。

Input Jack:

1/4ケーブルでベース(楽器)に接続します。

Output Jack:

1/4ケーブルでアンプに接続します。

XLR Jack:

Badwaterは1/4インチとXLRの二系統の出力を備えています。PA機器への接続にはXLRを、アンプへの接続には1/4インチを使用してください。二系統の同時出力も可能です。尚、Badwaterはファンタム電源に対応していません。ファンタム電源を使用した場合でも保護回路が働き本体にダメージはありませんが、本機使用の際にはファンタム電源をONにしないようご注意ください。

GND Lift:

アース・ループ等によりハムやノイズが出た場合にこのグランド・リフトをオンにしてください。通常はオフにしてください。

9v Jack:

9-volt DC, Center Negative, 300mA min.

9 volt DC, Center Neg.
300mA min*

output jack

input jack



*Walrus Audioエフェクターの電源は、アイソレーテッドパワーサプライの使用を推奨します。デジチェーン式のパワーサプライは推奨しません。

●安全にご使用いただくために

この度はWALRUS AUDIO製品をお買い上げいただきありがとうございました。

・使用開始前に、安全ため下記の説明を良くお読みください。 ・お読みになった後は、必ず保存しておいて下さい。 ・ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、下記の指示を必ず守ってください。

⚠ 警告: 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。 ⚠ 注意: 人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

⚠ 警告
1. 火災または感電の危険を避けるため分解したり修理、改造は行わないでください。 2. 火災または感電の危険を避けるため本機器を雨や湿気にさらさないでください。

⚠ 注意
1. この取扱説明書をよくお読みください。
2. この取扱説明書で説明されている範囲を超えた保守点検作業を行わないでください。
3. 本機器を暖房器具や電熱器などの熱を発生する機器の近くに置かないでください。
4. 本機器に異物や液体が入らないようにしてください。
5. 本機器の清掃には、金属部分の先端部などでけがをしないよう注意して、乾いた布のみを使用してください。
6. 火器の近くを避け、安定した場所に保管してください。天災による事故、火災の原因となったり、地震の際に落下してけがの原因になることがあります。
7. 発火や感電の危険を避けるため本危機を濡れた手で、水の近くで使用しないでください。